



# Greeting

## ●ごあいさつ

市政60周年の節目を迎えた北九州市は、2月の市長選で16年ぶりに市長が交代となり、武内和久市長のもと新たなスタートを切りました。

北九州市の強みである充実した都市インフラを更に活かし、次世代・グローバル産業の誘致・強化や「わくわく・期待感」あふれるまちづくりなどに挑戦することとしています。

建設局においては、本市の成長につながる都市基盤や生活に身近な道路・公園・河川の着実な整備、施設の適切な管理と長寿命化、公共空間の魅力向上などの事業に取り組みます。

道路事業では、戸畑枝光線や国道3号黒崎バイパス、恒見朽網線など、都市の発展や企業の物流振興を支えるとともに、平常時・災害時を問わない安定的な物流・人流を確保するための広域道路ネットワークの整備を進めています。また、橋梁・トンネル・都市モノレール等の長寿命化事業を計画的に実施することで、予防保全型の維持管理を推進するとともに、通学路の安全対策など、より安全で安心な道路環境の整備を進めていきます。さらに、道路空間を活用した賑わいづくりを推進するとともに、道路サポーター等の制度によりボランティア団体を支援し、市民との協働による美しいまちづくりを目指します。

公園事業では、良好な都市環境の形成や防災機能の向上、にぎわいづくりによる地域の活性化など、本市の政策に幅広く対応するための整備や管理を行っています。市民ニーズに対応した身近な公園整備を行う「地域に役立つ公園づくり事業」、健康遊具を使って高齢者の方が気軽に健康づくりができる「健康づくりを支援する公園整備事業」などを実施し、今後も市民に親しまれる公園づくりを進めていきます。また、到津の森公園南側エントランスにおいて、公募設置型管理制度 (Park-PFI) を活用し、飲食施設や動物公園にふさわしいエントランス施設を整備し、公園全体のにぎわいづくりや魅力向上並びに入場者の増加を図ります。さらに、市民ボランティアが公園の清掃、除草、花壇づくりなどを行う公園愛護会などの活動を支援し、市民との協働による緑豊かなまちづくりを目指していきます。

河川事業では、近年頻発化、激甚化する豪雨災害に備え、河川改修や調節池の整備、護岸の長寿命化河川浚渫などのハード整備とともに河川情報システムによる防災情報の発信などソフト対策の充実に取り組んでいます。また、河川は、自然とふれあう身近な水辺空間であり、子ども達の環境学習やカヌーなどの体験活動の場として活用されるとともに、市民の皆様による清掃活動や草刈りなどの河川愛護活動なども広く行われています。これらの活動への支援も通じて、うるおいのあるまちづくりを目指していきます。さらに、神獄川の改修と旦過市場の再整備を一体的に行う旦過地区については、令和4年4月と8月の二度に渡る大規模火災により甚大な被害が発生しました。このため、被災者や関係者の意向を丁寧に確認しながら、今後の事業の進め方について検討を進めています。今後とも、一日も早い火災からの復興と安全・安心で魅力あふれる旦過市場に発展できるよう再整備事業に取り組んでいきます。

これからも市民や国・県等の関係機関のご理解とご協力をいただきながら、北九州市のさらなる発展と飛躍を目指し、国土強靱化に資する都市基盤の整備に鋭意努力を積み重ねてまいります。

令和5年8月 北九州市建設局